



空を見上げると青空が高く広がり、足元には落ち葉や木の実が広がり始めてきました。今年は秋の訪れが少しゆっくりですが…園庭に出てあそんでいると『いいにおい、きんもくせいのおいだ』『このみはなんだろう』『おおきなはっぱがおちているよ』『あ〜、トンボ』と子どもたちは嗅覚や視覚など体全体で季節の移り変わりを感じているようです。

秋から冬へとなりますので、1日の寒暖差や感染症予防に気を付けて、子どもたちが健康で安全な毎日を送れるようにしていきたいと思います。



こどもの姿

- ※みんなで力を合わせて、楽しんで参加した運動会が終わり、子どもたちの顔が少しくましくなったような気がします。運動会ごっこに参加すると、年中組のサーキットと年長組のバンブーと一緒にやらせてもらい、とても嬉しそうな表情でした。
- ※『長い針が6になったら散歩に行こう』と保育者が声をかけると、時計をチラチラと見ながら行動できるようになってきた子どもたち。着替えなどの身支度を手伝おうとすると…『じぶんでやれるから、だいじょうぶ』と自立への一歩がみられる姿があり、この半年間で、大きな成長を感じます。
- ※『キューーンキューーンって、イルカがいないだね』『えのでんがはしっていた』『おべんとうがおいしかった』など話をしながら、新江ノ島水族館での遠足の思い出の絵を描いていました。
- ※公園に出かけると木の枝を集めた上に、拾った石や葉っぱや木の実をのせて『やきにくやさん』『バーベキューだよ』『いらっしゃいませー』とお店屋さんが開店し、お客さん役店員さん役となりごっこあそびを楽しんでいました。



楽しみだね♪

園庭で虫探しをしていると…木の葉の裏にあおむしを見つけました。子どもたちの大好きな絵本“はらぺこあおむし”と大喜びでした。『ちょうちょになる?』育ててみたいという声があり、虫かごに入れてうさぎ組の仲間入りをしました。数日後、葉を食べなくなり、たくさんのうんちをした後に、あおむしが動かなくなりました。そして、次の日には…なんとさなぎになっていました。子どもたちと図鑑で調べると、さなぎになって2週間くらいで羽化するようなので、みんなで毎日観て楽しみにしています。

実りの秋

春から育てていたパプリカ…暑さのために夏の後半は、なかなか実をつけず、葉もしおれてきてしまい、おしまいかなと思いつつも、毎日子どもたちと水やりを朝夕に続けていました。先月あたりから少しずつ涼しくなり、またパプリカの花が咲き、実をつけ始めました。今度のパプリカは何色かな?ととても楽しみにしています。また調理していただき食べたいと思っています。また、8日の焼き芋会は年長児が保育園の畑で育てたサツマイモを園庭で石焼します。今から楽しみにしている子どもたちです。

